



P R E S S R E L E A S E

Japan Mobility Show 2025に出展

2025 年 9 月 30 日

三菱ふそうトラック・バス株式会社(本社:神奈川県川崎市、代表取締役社長・CEO:カール・デッペン、以下 MFTBC)は、2025年10月30日(木)から11月9日(日)にかけて東京ビッグサイト(東京都江東区)で開催される「Japan Mobility Show 2025(以下、JMS 2025)」(主催:一般社団法人 日本自動車工業会)に出展します。

MFTBC は「FUTURE TOGETHER:新しい時代を駆け抜けろ、ふそうと共に」を JMS 2025のブーステーマに掲げ、新たな時代が商用車業界に到来する中、MFTBC が描く輸送の未来像を提示します。当社が輸送の未来像に向けてお客様と共に歩みを進めるために、物流課題を解決するための先進技術を活用したソリューションを初公開し、MFTBC が描く商用車両や物流の効率化を実現する輸送の未来を、実車及びパネル展示を通じて提示します。



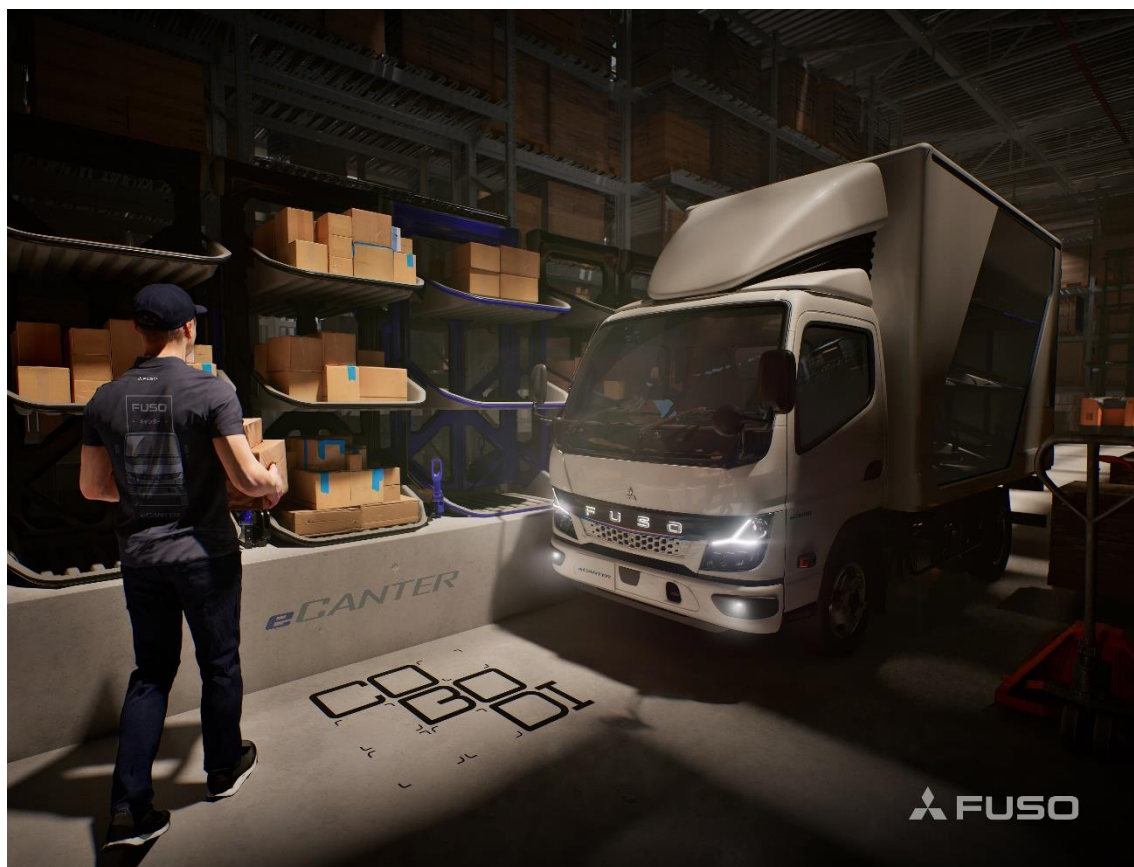
JMS 2025の MFTBC ブースコンセプトイメージ「FUTURE TOGETHER」

【eCanter&ソリューションエリア】

次世代型物流ソリューションのコンセプト「COBODI(コボディ)」を搭載した電気小型トラック「eCanter」(コンセプト、初公開)

物流課題に向けたソリューションとして、革新的なスマートボディとデジタルソリューションを融合した新たなコンセプト「COBODI(Connected Load Body):コボディ」を、JMS 2025で初公開します。JMS 展示ブースでは、2017年に日本初の量産型電気小型トラックとして MFTBC が発売し、2023年に車両ラインアップの拡大によって多様な輸送ニーズに対応した第三世代の「eCanter」に「コボディ」を搭載した特別仕様モデルを展示します。荷下ろし作業を行うドライバーを主体にデザインしたスマートな荷台設計と、AI(人工知能)を駆使して最適な配送ルートを自動で計画する配送計画システム「ワイズ・システムズ」との連携により、次世代の物流ソリューションを提案します。

「コボディ」は、ドライバーの負担軽減や、荷下ろしにかかる作業時間の短縮、配送効率の向上、そして事業者による車両管理の生産性向上を目指すコンセプトです。会場では、「COBODI」の仕組みを再現するデモンストレーションも実施し、MFTBC が描く次世代の物流ソリューションを実現するプラットフォームとしての将来性を提示します。



COBODI を搭載した「eCanter」

【FUSO 先進コンセプトカー体験エリア】(ワールドプレミア)

JMS 2025でワールドプレミアを実施します。後日公開予定です。

【FUSO サービス&ソリューションエリア】

物流の効率化や EV トラックへのスムーズな移行へのサポートに向けた各種デジタルソリューションを展示し、これらのソリューションが物流配送をどのように支えているかについて、展示を通じて学ぶことができます。

【Future Together コーナー】

JMS 2025の当社ブースでは、来場者の皆様とのインタラクティブなコミュニケーションを通じた展示を実施します。「FUSO Together コーナー」では、当社の車両やサービスを楽しく、わかりやすく紹介するインタラクティブな展示を通じて、物流課題に対する各種ソリューションについて学ぶことができます。

【MFTBC ブースでサステナブルな未来を体験】

当社ブースでは、来場者の皆様に楽しみながら未来への取り組みを体感いただける魅力的なコンテンツを、多数ご用意しています。

■ スタンプラリーで FUSO グッズをプレゼント

会場内の各ブースを巡ってスタンプを集めると、FUSO オリジナルグッズをプレゼントします。お子様から大人まで楽しめる企画です。

■ リサイクルプラスチックでキーホルダーづくり体験

ブース内では、リサイクル素材を活用したキーホルダーを制作するワークショップを開催します。来場者の皆様と共に作業を行うことで、FUSO が目指すサステナブルな未来へのビジョンを共有・体験いただけます。

■ AI チャットボットと共に未来のモビリティを学ぶ

FUSO に関する情報や、カーボンニュートラルを実現する次世代車両について、AI チャットボットと一緒に学べる体験型コンテンツも登場します。気になることをその場で質問しながら、未来のモビリティを楽しく理解できます。

FUSO ブーステーマのコンセプトイメージ「FUTURE TOGETHER」では、「Echo(共鳴)」をモチーフとし、当社が描く輸送の未来コンセプトが来場者の皆様の心に広がり響き渡ることを願う想いを、視覚的に表現しています

▽MFTBC の JMS 特設サイトはこちら:

<https://www.mitsubishi-fuso.com/ja/japan-mobility-show-2025>

▽MFTBC 公式 SNS アカウントでも、JMS2025の様子を随時お知らせします:

<https://x.com/FusoOfficial>

<https://www.facebook.com/FusoOfficial>

https://www.instagram.com/fusoofficial/?_fsi=WuKxs4kC

<https://www.linkedin.com/company/mitsubishi-fuso-truck-and-bus-corporation/>

■ Japan Mobility Show 2025開催概要

名称: Japan Mobility Show 2025

主催: 一般社団法人 日本自動車工業会

開催期間: 2025年10月30日(木)~11月9日(日)

会場: 東京ビッグサイト

当社ブース No.: EC02

URL: <https://www.japan-mobility-show.com/>

三菱ふそうトラック・バス株式会社について

三菱ふそうトラック・バス株式会社(MFTBC)は、川崎市に本社を置く商用車メーカーです。ダイムラートラック社が89.29%、三菱グループ各社が10.71%の株式を保有しています。90年以上の歴史を持つFUSO ブランドのトラックやバス、産業用エンジンを世界約170の市場向けに開発・製造・販売しています。日本初の量産型電気小型トラック「eCanter」による電動化や、運転自動化では大型トラック「スーパーグレート」に国内商用車初の SAE レベル2相当の高度運転支援技術を実装するなど、先進技術の開発に積極的に取り組んでいます。

FUSO ブランドについて

「FUSO」はダイムラートラックのブランドの一つです。世界約170の市場において、トラックやバスといった商用車や産業用エンジンを展開しています。90年以上の歴史と日本ならではの品質や熟練技術による効率性や安全性、快適性が特徴です。小型トラック「キャンター」は世界中の様々な市場でトップシェアを獲得しており、日本初の量産型電気小型トラック「eCanter」をグローバルに展開し、商用車の電動化をリードしています。ブランドスローガン「Future Together」の下、FUSO はお客様とともに安全かつサステナブルな輸送ビジネスを未来へ繋いでいくことを約束します。

電気小型トラック「eCanter」について

「eCanter」は、MFTBC が2017年に発売した日本初の量産型電気小型トラック(バッテリーEV トラック)です。温室効果ガスを排出せず、CO₂削減という社会課題の解決に貢献しつつ、静穏かつ低振動というEV トラックの特性により、都市内輸送・深夜早朝の輸送をより快適・低負荷で行えます。2023年3月にフルモデルチェンジして発売した新型モデルは、シャシラインアップや架装バリエーションの拡大、ニーズに合わせた航続距離の展開によって、さらに多様なニーズへの対応が可能です。日本のほか欧州31市場やオセアニア地域に加え、インドネシアや台湾といったアジア地域および中東・南米など、海外市場への新たな展開も進めています。